



「2人目の赤ちゃんが生まれます。産休、育休をとり、医大でずっと働きたい！」

福田菜々美さん（医大病院係員）が香芝市立下田小学校で報告

～香芝市特別支援教育研究会研修会～ 8月20日 香芝市立下田小学校



福田菜々美さん（中央）



香芝市内保育園、幼稚園、小中学校の先生方の特別支援教育研修会が開催されました。

NPO法人ならチャレンジド理事長赤川義之の講演、そして県立医科大学附属病院で就労している福田菜々美さん（下田小学校、高等養護学校卒）が岡山弘美医大障害者雇用推進マネージャーのインタビューで思いを語りました。

福田さんは医大で就労する決意、職場でしんどかったことや楽しかったこと、2人目の妊娠からお産、育児への強い思い、最後に支援者へのお願いを語りました。

「医大で働き始めて6年目になります。最初は学内保育園で保育補助をしていました。今は婦人科病棟の看護補助です」

「しんどくて仕事をやめようと思ったとき岡山係長が話を聞いてくれたので、続けて働こうと思いました。また、初めて妊娠したときも相談にのってくれ、応援してくれました」

「仕事はお給料をもらっているので大変なことが多いです。楽しく仕事ができています」

「もうすぐ2人目の赤ちゃんが生まれます。また、産休育休をとって復帰して、ずっとこの医大で働きたいと思っています」

「支援者の方は人によって態度を変えないでほしいです」

福田さんの報告から、ひしひしと伝わってきます。安心できる居場所があり、信頼され、認められる（評価される）ことが何よりも大切であり、“継続して働く力”となっています。

当事者本人の思いは、参加された先生方の心に響き、教育の糧となったでしょう。